

2022年7月の天候

令和4年8月5日
盛岡地方气象台

この資料内のデータは速報値です。
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

《 特徴 》

【高温】

【内陸南部と沿岸で降水量多い】

1 天候経過

〈天候の特徴〉

高気圧に覆われて晴れる日もあったが、低気圧や前線、気圧の谷や上空の寒気のほか湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多かった。特に、大気の状態が非常に不安定となった16日は内陸南部と沿岸で、22日は沿岸南部を中心に100ミリを超える大雨となった所があった。

なお、岩手県を含む東北北部は26日ごろに梅雨明けしたとみられる。平年より2日早く、昨年より10日遅い。

月平均気温は、平年より高いからかなり高く、月降水量は、内陸南部と沿岸で平年より多い所があったほかは平年並から少なかった。月間日照時間は、内陸で多い所があったほかは平年並だった。

なお、7月2日に発生した通信障害でデータが得られていない観測所があり、本報は現在得られているデータで作成しています。データ収集が終了次第更新する予定です。

上旬： 高気圧に覆われて晴れる日もあったが、前線や台風第4号から変わった低気圧、上空の寒気や湿った空気の影響により曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、高いからかなり高かった。旬降水量は、内陸南部で少ないからかなり少ない他は平年並から多く、沿岸北部でかなり多い所があった。旬間日照時間は、内陸南部でかなり多く、北部は多いから平年並。沿岸は概ね平年並。

中旬： 低気圧や気圧の谷、上空の寒気や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。特に16日は、前線に向かって南から湿った空気が流れ込み、一方、上空に寒気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、日降水量が釜石で146ミリ、千厩132ミリなど県南部や沿岸で100ミリ以上の雨が降った所があった。

旬平均気温は、平年並から高い。旬降水量は、内陸北部と沿岸北部で平年並の所があったほかは平年より多く、内陸南部と沿岸でかなり多い所があった。旬間日照時間は、概ね少なかった。

下旬： 低気圧や前線、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。22日は、前線や日本海を東進する低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、大船渡で日降水量108.5ミリ、釜石72.0ミリなど沿岸南部を中心に大雨となった。

旬平均気温は、内陸北部と沿岸北部は概ね平年並、内陸南部と沿岸南部は概ね高かった。旬降水量は、平年並から多く、北部で少ない所があった。旬間日照時間は、平年並から多かった。

○盛岡、宮古、大船渡の旬及び月統計値

地点\要素	平均気温	平年差	階級区分	降水量	平年比	階級区分	日照時間	平年比	階級区分	
盛岡	上旬	24.5	3.1	かなり高い	47.5	72	平年並	78.5	186	かなり多い
	中旬	23.1	1.0	高い	76.5	110	多い	21.1	56	少ない
	下旬	25.6	1.9	高い	27.5	44	平年並	69.8	138	多い
	月	24.4	2.0	かなり高い	151.5	77	平年並	169.4	130	多い
宮古	上旬	21.0	2.0	高い	43.0	91	平年並	44.0	105	平年並
	中旬	21.0	1.2	高い	84.5	136	多い	22.7	62	少ない
	下旬	22.0	0.0	平年並	25.5	53	平年並	56.9	103	平年並
	月	21.4	1.1	高い	153.0	97	平年並	123.6	92	平年並
大船渡	上旬	23.4)	2.8	かなり高い	53.5)	84	平年並	42.9)	104	平年並
	中旬	22.6	1.2	高い	198.5	271	かなり多い	24.0	61	少ない
	下旬	24.2	1.3	高い	127.0	212	多い	68.2	127	多い
	月	23.6)	1.9	かなり高い	379.0)	193	多い	143.2)	107	平年並

<単位 気温:°C 降水量:mm 日照時間:h 平年差(比):°C(%)> 平年値:1991~2020年の平均値

2 日別の気圧配置

- 1日:前線が東北北部に停滞する。
- 2日:前線は三陸沖へ進み、次第に高気圧に覆われる。
- 3日:本州付近は、日本の東の高気圧に覆われる。
- 4日:東北地方は気圧の谷となる。
- 5日:引き続き、東北地方は気圧の谷となる。
- 6日:台風第4号から変わった低気圧が本州の南をゆっくり東へ進む。一方、高気圧が千島近海をゆっくり南へ移動する。
- 7日:低気圧が関東の東に停滞する。一方、千島近海の高気圧が北日本に張り出す。
- 8日:引き続き、低気圧が関東の東に停滞する。一方、千島近海の高気圧が北日本に張り出す。
- 9日:引き続き、千島の東の高気圧が北日本に張り出す。一方、低気圧が関東の東を北へ進む。
- 10日:低気圧が三陸沖を北へ進む。
- 11日:東北地方は緩やかに高気圧に覆われる。一方、日本海は気圧の谷となる。
- 12日:日本海を低気圧が東へ進む。
- 13日:日本海の低気圧がゆっくり東へ進み、東北地方は気圧の谷となる。
- 14日:日本海を低気圧が東へ進む。一方、オホーツク海の高気圧が北日本に張り出す。
- 15日:日本海の低気圧が北へ進む。また、前線が華北から日本海を通過して東日本にのびる。
- 16日:前線が東シナ海から本州付近を通過して三陸沖へのびる。
- 17日:引き続き、前線が東シナ海から本州付近を通過して三陸沖へのびる。また、低気圧が日本海中部を北東へ進む。
- 18日:北日本は気圧の谷となる。
- 19日:日本海中部の前線を伴った低気圧が東北東へ進む。
- 20日:東北地方は気圧の谷となる。
- 21日:東北地方は気圧の谷となる。
- 22日:前線を伴った低気圧が日本海を東北東へ進む。
- 23日:低気圧が日本海と三陸沖にあって、共に東北東へ進む。
- 24日:東北地方は気圧の谷となる。一方、日本海の高気圧が東北東に移動する。
- 25日:東北地方は気圧の谷となる。
- 26日:前線が日本のはるか東から東北南部にのびる。一方、日本海の高気圧がゆっくり東に移動する。
- 27日:日本海の高気圧がゆっくり東に移動する。一方、前線が東北南部に停滞する。
- 28日:高気圧が日本海に停滞する。
- 29日:東北地方は日本海の高気圧に覆われる。
- 30日:東北地方は日本の東の高気圧に覆われる。
- 31日:本州付近は日本の南の高気圧に覆われる。

3 気象統計値表

○気象官署及び特別地域気象観測所(7月として5位まで記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日最大10分間降水量	mm	盛岡	年1	24.0	2022年7月5日	1940年
		大船渡	3	15.0	2022年7月5日	1964年
日最大1時間降水量	mm	盛岡	3	36.0	2022年7月5日	1924年
		大船渡	4	47.5	2022年7月16日	1964年
月最大24時間降水量	mm	大船渡	4	143.5	2022年7月16日	1964年
月降水量の多い方から	mm	大船渡	4	379.0	2022年7月	1964年
日最高気温の高い方から	℃	大船渡	1	35.8	2022年7月31日	1964年
月平均気温の高い方から	℃	盛岡	5	24.4	2022年7月	1924年
		大船渡	3	23.6	2022年7月	1964年

注)「年1」は通年の極値更新を表す。

○アメダス(7月として1位更新：統計期間10年以上の要素を記載)

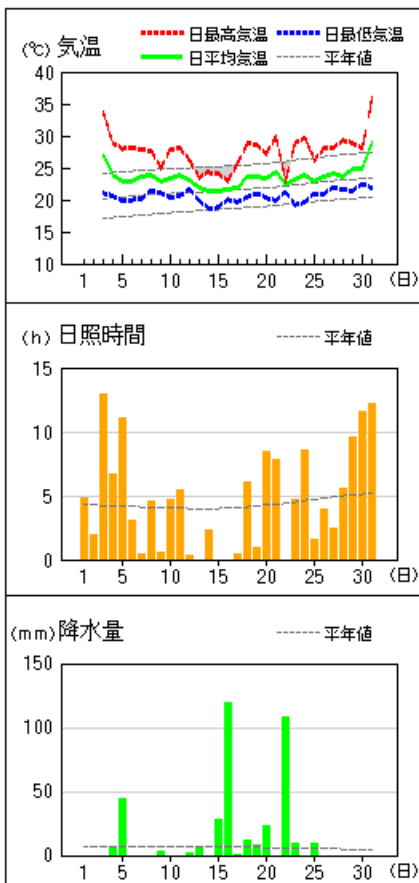
要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日降水量	mm	千厩	1	132.0	2022年7月16日	1976年
日最大10分間降水量	mm	山形	1	17.0	2022年7月4日	2009年
		奥中山	年1	17.0	2022年7月12日	2008年
		岩手松尾	年1	13.5	2022年7月23日	2009年
		大槌	年1	17.0	2022年7月20日	2009年
		米里	年1	24.0	2022年7月4日	2009年
		釜石	年1	19.5	2022年7月20日	2009年
		住田	年1	25.0	2022年7月5日	2008年
日最大1時間降水量	mm	岩手松尾	年1	50.5	2022年7月23日	1976年
		川井	1	43.0	2022年7月23日	1978年
		米里	年1	54.0	2022年7月4日	1977年
日最高気温の高い方から	℃	川井	1	36.9	2022年7月3日	1978年
日最低気温の高い方から	℃	江刺	1	25.0	2022年7月27日	1977年
日最大風速・風向	m/s	岩手松尾	1	11.8(東南東)	2022年7月4日	1977年
日最大瞬間風速・風向	m/s	岩手松尾	1	20.2(東南東)	2022年7月4日	2009年
		湯田	1	14.0(北東)	2022年7月16日	2009年

注)「年1」は通年の極値更新を表す。

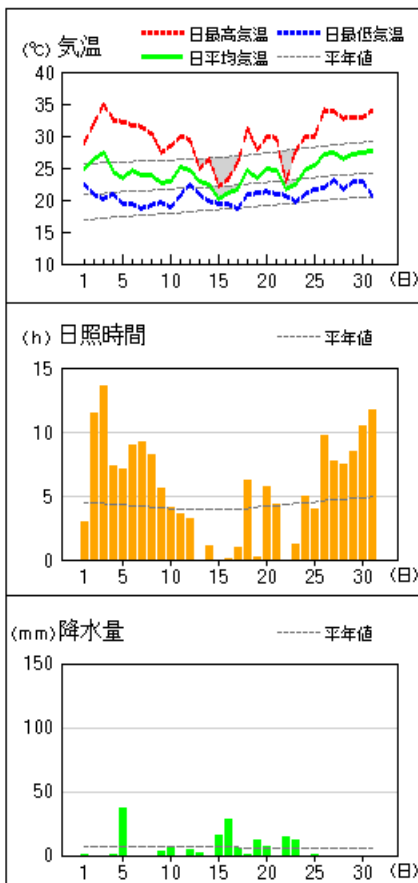
4 気象経過図

アメダス 気象経過図：2022年07月01日-2022年07月31日

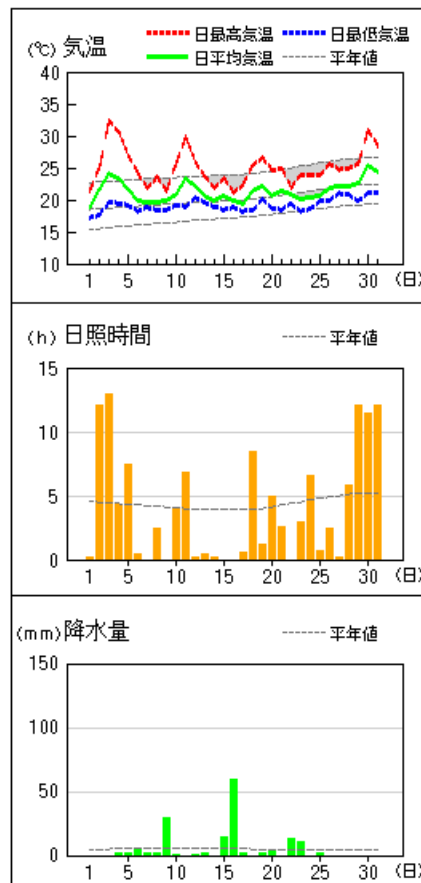
大船渡



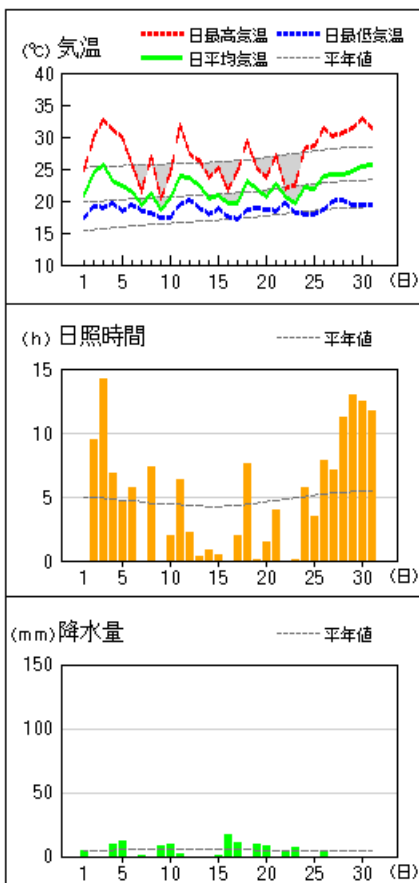
盛岡



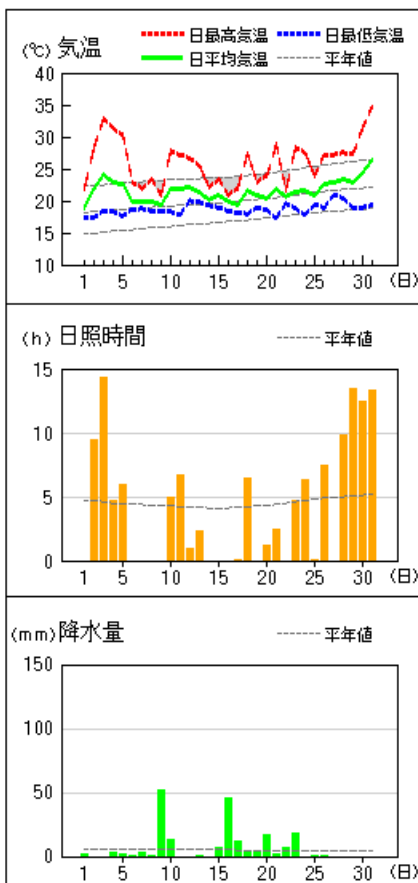
宮古



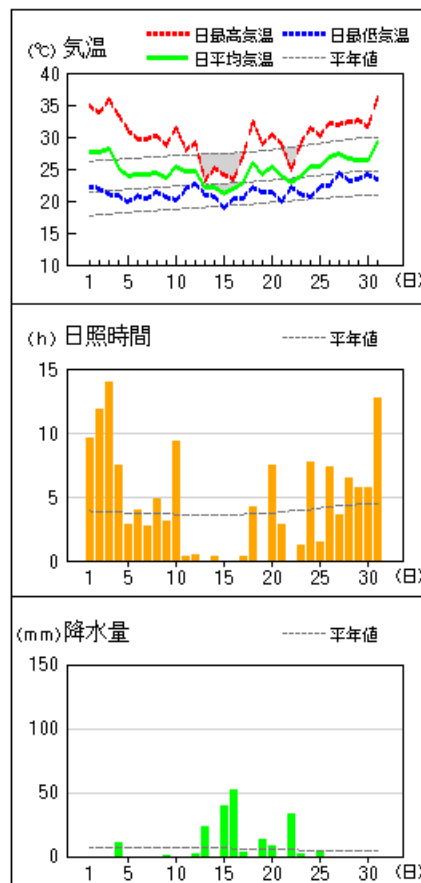
二戸



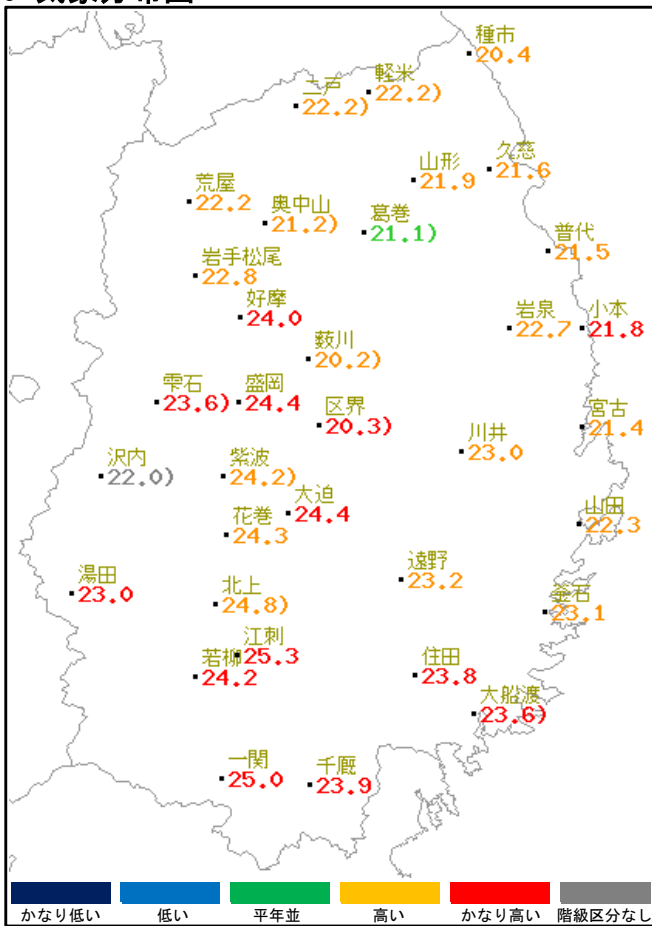
久慈



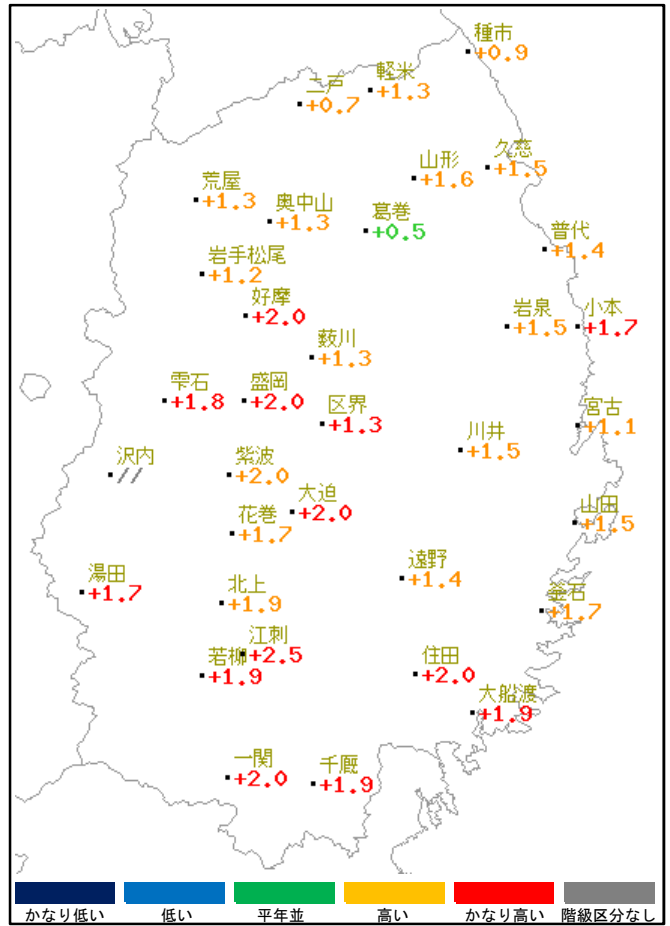
一関



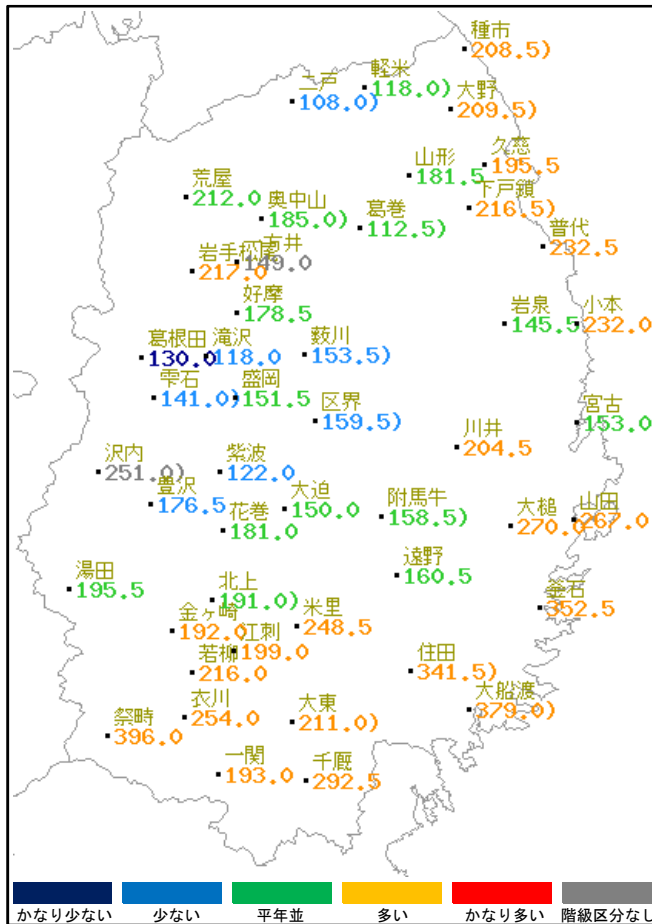
5 気象分布図



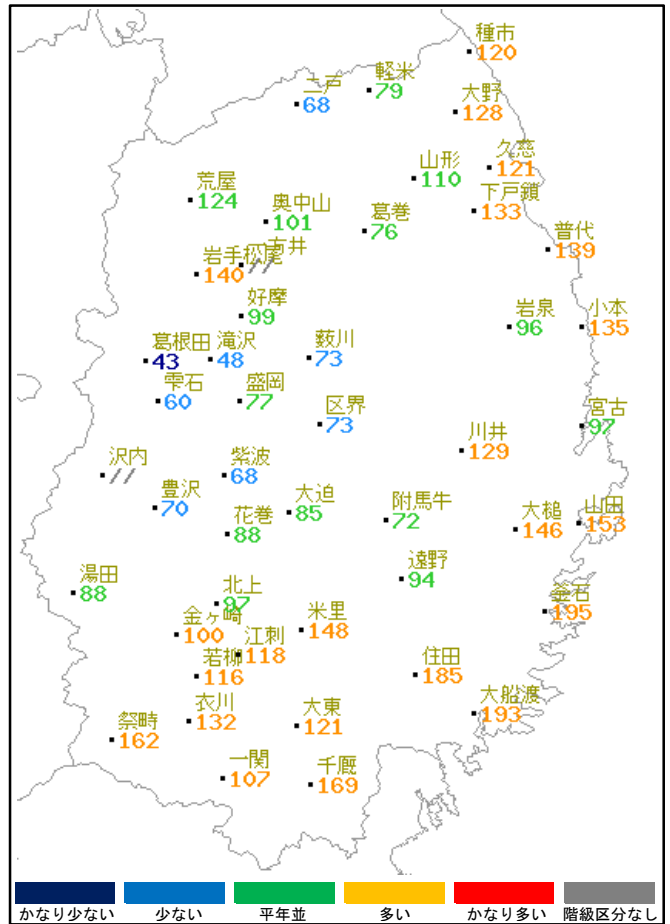
月平均気温実況値 (°C)



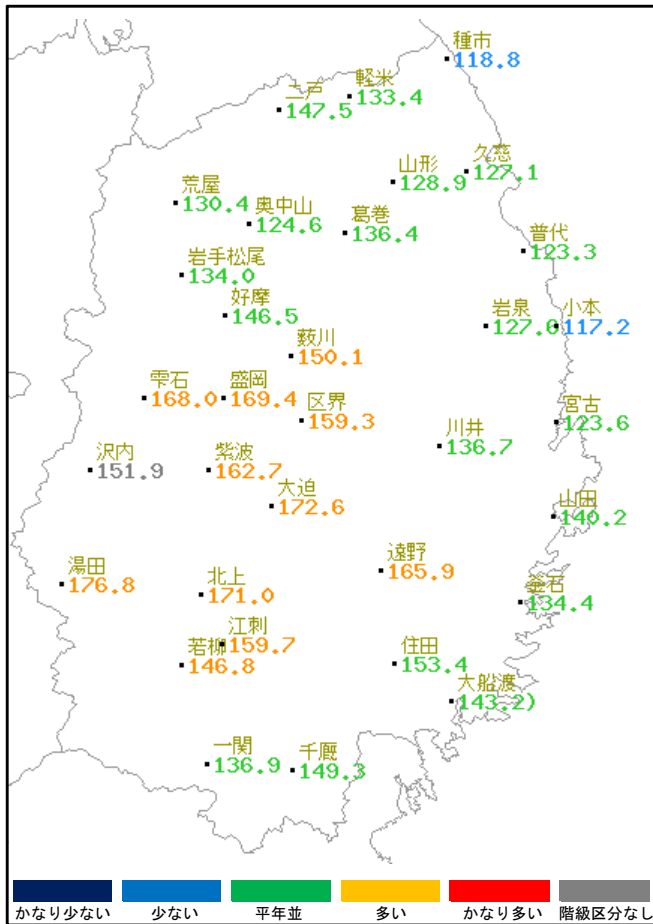
月平均気温平年差 (°C)



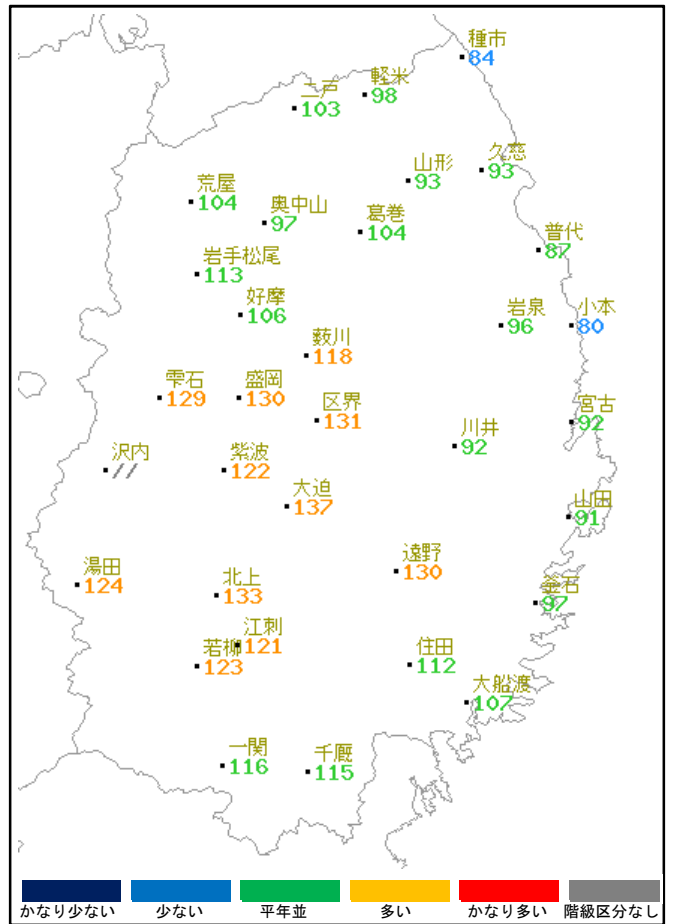
月降水量実況値 (mm)



月降水量平年比 (%)



月間日照時間実況値 (h)



月間日照時間平年比 (%)

記号の意味 //: 平年値なし 平年値: 1991~2020年の平均値 (花巻は2003~2020年)

6 その他

○7月の夏日 (25℃以上)、真夏日 (30℃以上)、猛暑日 (35℃以上) の日数
(アメダス観測)

観測所名	種市	軽米	二戸	山形	久慈	荒屋	奥中山	葛巻	普代	岩手松尾	好摩	岩泉
25℃以上日数	7	21	22	19	18	21	19	20	17	26	28	25
30℃以上日数	2	9)	9	6	5	8	5)	5)	5	10	11	9
35℃以上日数	0	0)	0	0	0	0	0)	0)	0	0	0	2
観測所名	小本	薮川	雫石	盛岡	区界	宮古	沢内	紫波	川井	花巻	大迫	山田
25℃以上日数	17	17	26	28	12	14	23	26)	25	27	28	18
30℃以上日数	2	0)	11)	16	0	3	7)	12)	11	12	15	3
35℃以上日数	0	0)	0)	0	0	0	0)	1)	1	0	0	0
観測所名	湯田	遠野	北上	釜石	若柳	江刺	住田	大船渡	一関	千厩		
25℃以上日数	24	26	27	24	26	28	26	25	27	27		
30℃以上日数	8	10	16	4	11	19	13	3	17	15		
35℃以上日数	0	0	1)	0	0	1	1	1)	2	0		

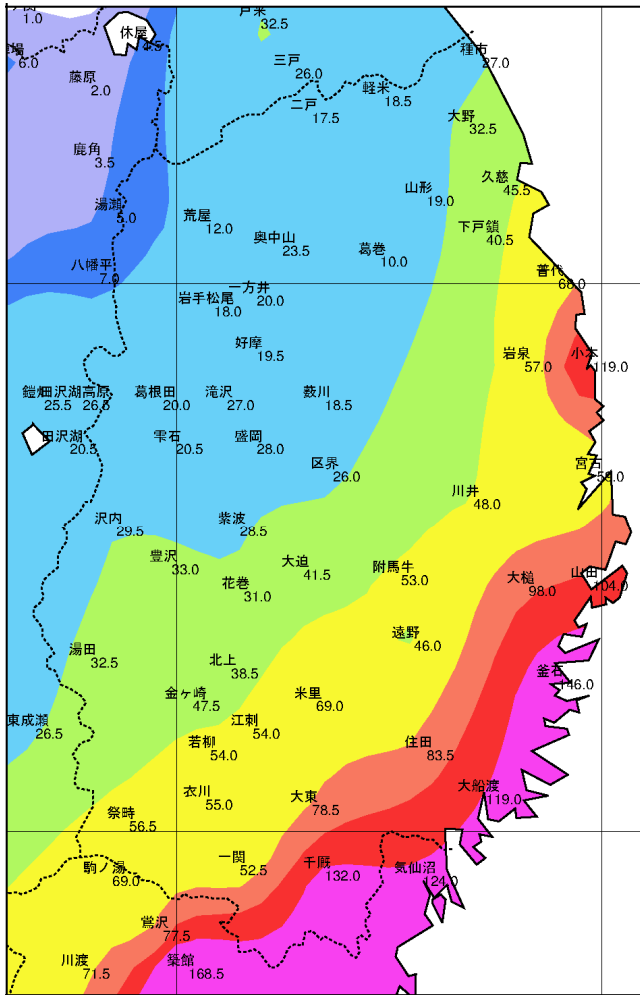
○16日と22日の大雨

【16日】上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となって釜石で日降水量が146ミリを観測したほか、千厩132ミリ、大船渡で119ミリなど県南部や沿岸で100ミリ以上の雨が降った。

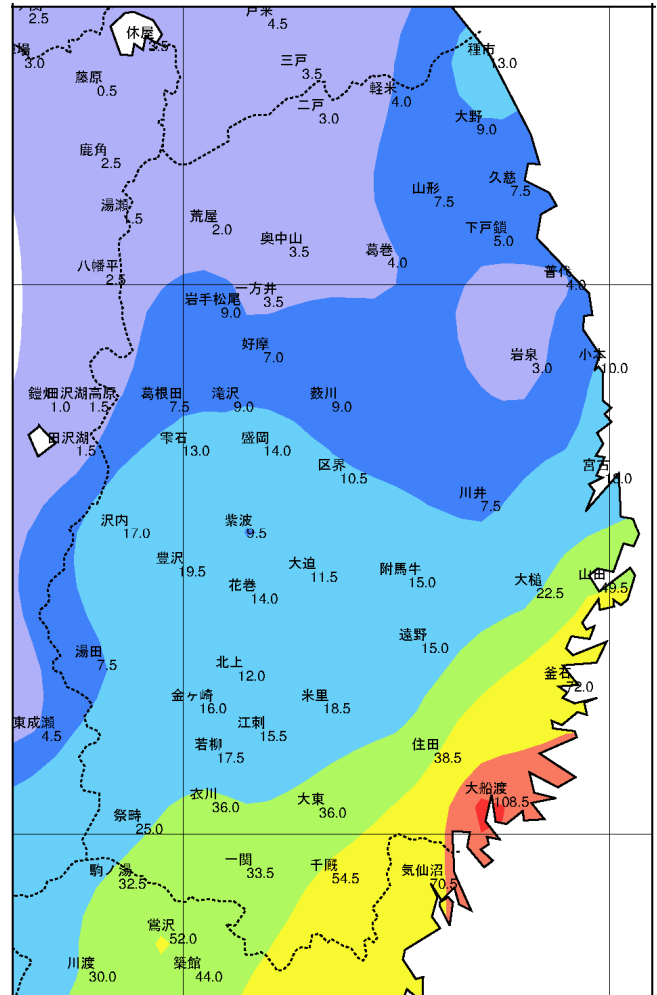
【22日】南から暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、大船渡で日降水量108.5ミリ、釜石72.0ミリなど沿岸南部を中心に大雨となった。

(次ページ)

左側は、16日の降水量分布図と、下の表は最大1時間降水量の多かった地点の最大10分間降水量
右側は、22日の降水量分布図と、下の表は最大1時間降水量の多かった地点の最大10分間降水量



観測所	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量	
	最大(mm)	時分	最大(mm)	時分
小本	30.5	1515	7.0	1302
大船渡	47.5	0445	10.0	0408
千厩	33.0	0423	8.0	0945



観測所	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量	
	最大(mm)	時分	最大(mm)	時分
釜石	17.0	1233	5.0	1143
大船渡	23.5	1156	5.5	1114
山田	14.5	1851	4.0	1304

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(GSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=030000&term=1month

【注意事項】

2021年3月2日より、盛岡・宮古・大船渡を除く地点の日照計による日照時間の観測を終了し、「推計気象分布(日照時間)」による推計値を日照時間データとしています。これに伴い、平年値も推計値によるものに補正しています。

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、盛岡は気象官署、宮古・大船渡は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しています。

なお、本資料の著作権は盛岡地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「盛岡地方気象台の資料に拠った」旨記載して下さい。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

(本資料に関する問い合わせ先)
盛岡地方気象台 電話019(622)7870